

(第1号様式)

## 教育情報に関する連絡表

【 教育情報提供者記入欄 】		情報提供年月日	平成26年10月28日	
情報提供者等	(フリガナ) 氏名		性 別	① 男性 ② 女性
	住所	岐阜県 笠松市 <u>市・町・村</u> (郡名は記入しない。)		
	年齢	① 20歳代 ② 30歳代 ③ 40歳代 ⑤ 50歳代 ⑥ 60歳代		
	情報の種類	① 意見 ② 要望 ③ <u>情報提供</u> ④ 質問 ⑤ その他		
	回答の希望	① 教育委員会の回答を希望 ② <u>教育情報のみで回答は不要</u>		
情報のテーマ	(1テーマにつき、1枚の連絡表をご使用ください。) 笠松中学校「道徳教育計画訪問」での授業を参観して			
<p>10月28日(火)、岐阜教育事務所指定の「心を育てる教育計画訪問」が開催された。</p> <p>私は今年度 笠松中学校の学校コーディネーターを委嘱されている関係で、開催案内を頂き、午後の1年1組 特別研究授業を参観した。(午前には、全学級の道徳授業公開及び生徒集会があった)</p> <p>「心を育てる教育計画訪問」の資料には笠松中学校 道徳教育の重点目標、道徳の時間と各教科・領域の指導内容及び時期との関連を示した学年別道徳教育全体計画が立案されている。また、道徳学習指導案には、①主題の構成表 ②学習指導過程 ③本時の道徳と他の教育活動との関連 ④本時の板書計画など緻密に立てられており、3年間を通して生徒に「よりよく生きる力を育成」しようとする笠松中学校の姿勢を感じることができた。</p> <p>また、1年1組特別研究授業では、</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. クラスの生徒31人(1人欠席)と約40名の参観者の中で道徳の授業が行われた。授業者の生徒を包み込むような穏やかさと明るさ、そして笑顔のある雰囲気が生徒に落ち着きを生み、自分の本当の気持ちを素直に発言できていた。</li><li>2. 資料の主人公が、とった行動とその時の気持ちを考えることで、主人公を介して自分の気持ちを語るできていた。</li><li>3. 「今日学んだこと」を書く時には、授業者がチェックをしながら机間巡視をしていた。そのあとの意図的指名での生徒の発言は、本時の道徳的価値を高めるものになった。</li></ol> <p>50分間、生徒が集中して道徳的価値と向き合った、中身の濃い授業だった。</p> <p>中央教育課程審議会では、道徳を仮称「特別の教科 道徳」とし、教科書の導入を答申している。笠松中学校は、昭和44年度に道徳教育の文部省指定を受けて以来、今日まで研究実践を続けている。平成30年度から新しくスタートする「これからの道徳教育」に本校の実践が、多くの学校の手本になるものと期待している。</p>				